

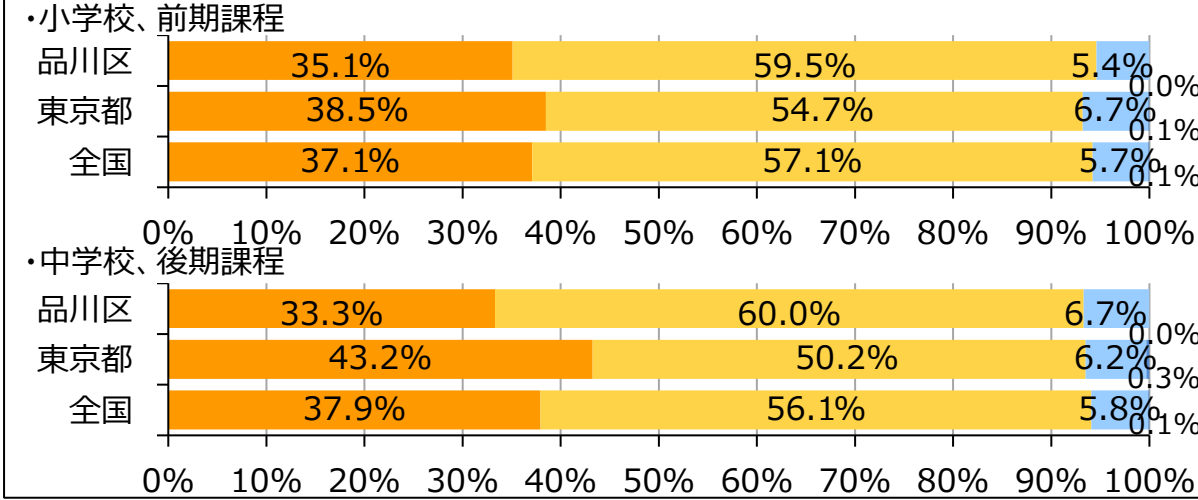
品川区独自教科である市民科に関連する状況 ～調査研究会の協議から～

令和7年7月8日
教育総合支援センター
教育施策推進担当

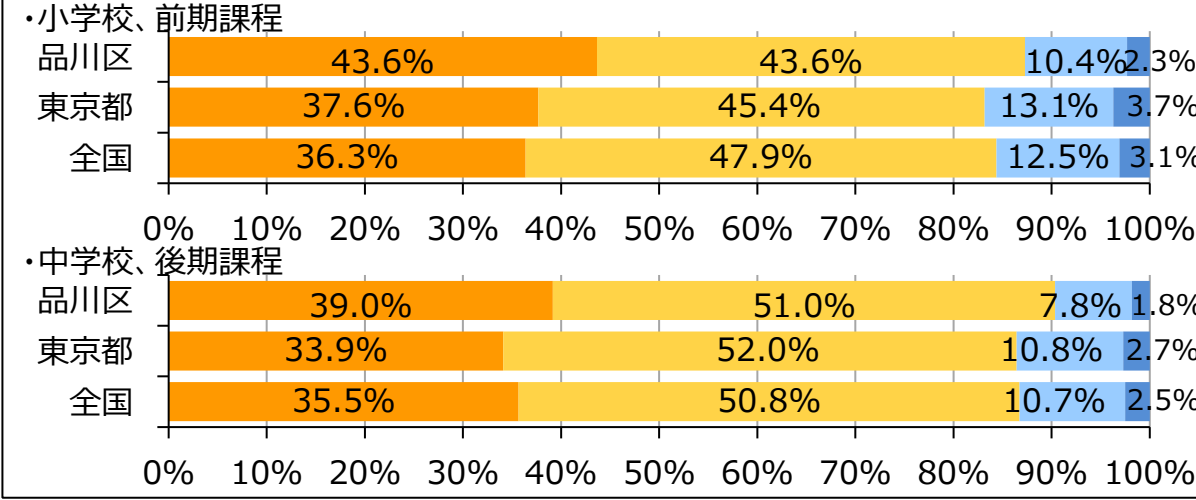
1 特別活動の実施状況 (R6 全国学力・学習状況調査結果から) ※区では市民科の授業で質問

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

【学校質問】学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか



【児童・生徒質問】あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

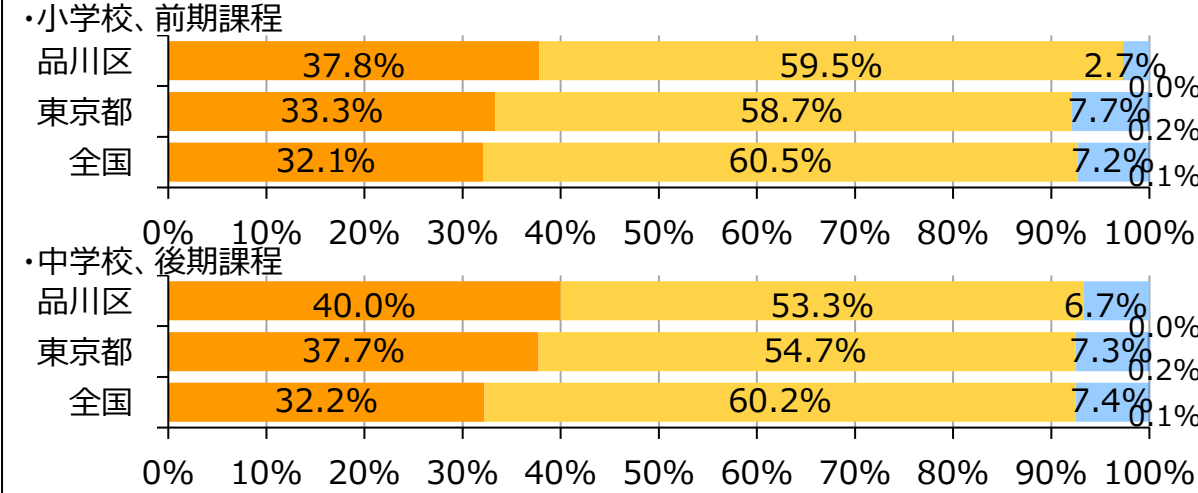


【状況】学校質問では、肯定的回答の割合は都や国と同等の値(-0.7~+1.4)となっている。

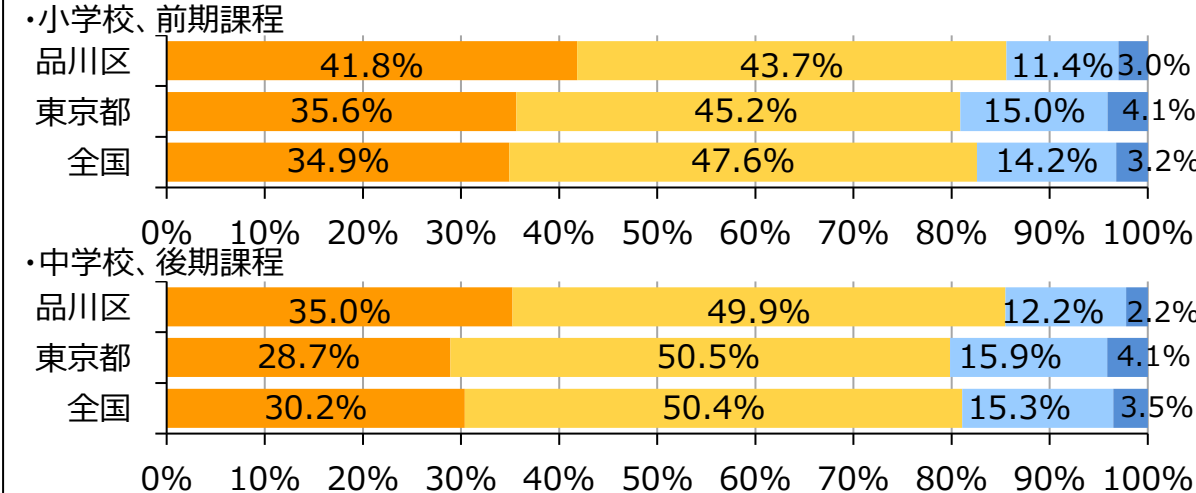
児童・生徒質問では、肯定的回答の割合が都や国よりも高い値(+3.0~+4.7)となっている。

肯定的回答の割合は、学校の方が高い値となっている。

【学校質問】学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童・生徒が意思決定できるような指導を行っていますか



【児童・生徒質問】学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



【状況】学校質問では、肯定的回答の割合は小学校・前期課程では都や国より高い値(+5.3、+4.7)、中学校・後期課程は同等の値(+0.9)となっている。

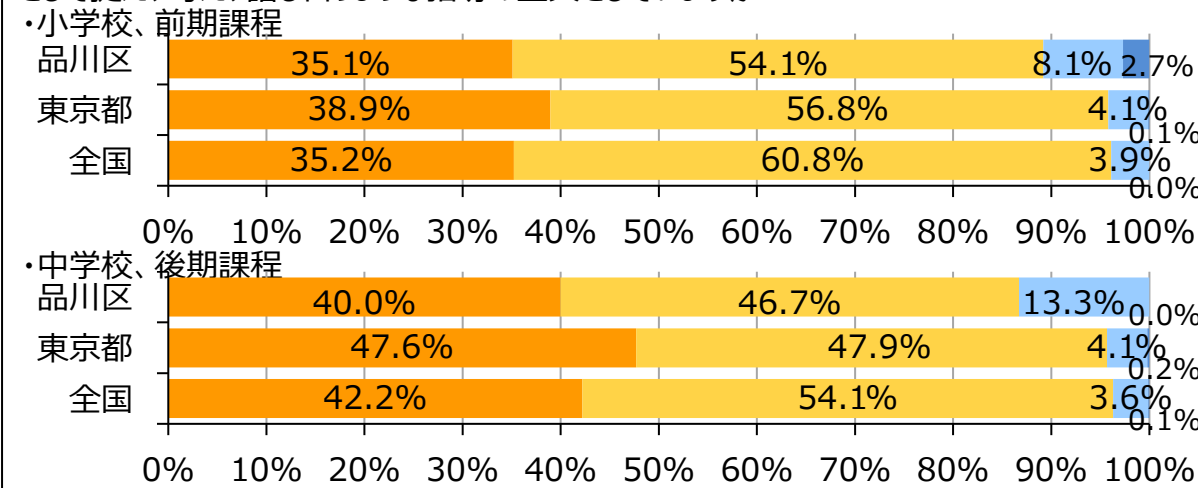
児童・生徒質問では、肯定的回答の割合が都や国よりも高い値(+3.0~+4.3)となっている。

肯定的回答の割合は、学校の方が高い値となっている。

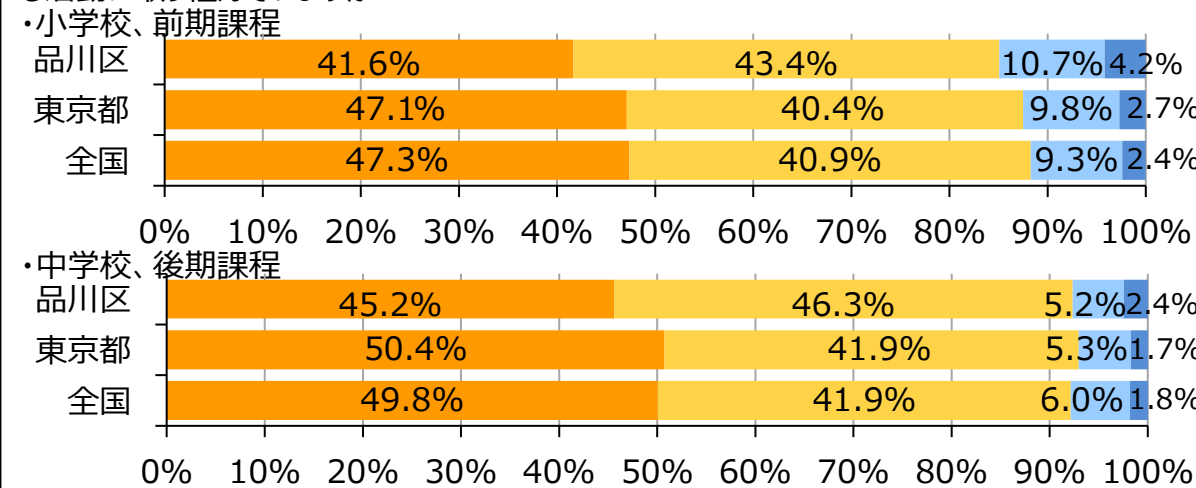
2 道徳の実施状況 (R6 全国学力・学習状況調査結果から) ※区では市民科の授業で質問

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

【学校質問】特別の教科道徳において、取り上げる題材を児童・生徒自らが自分自身の課題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



【児童・生徒質問】道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



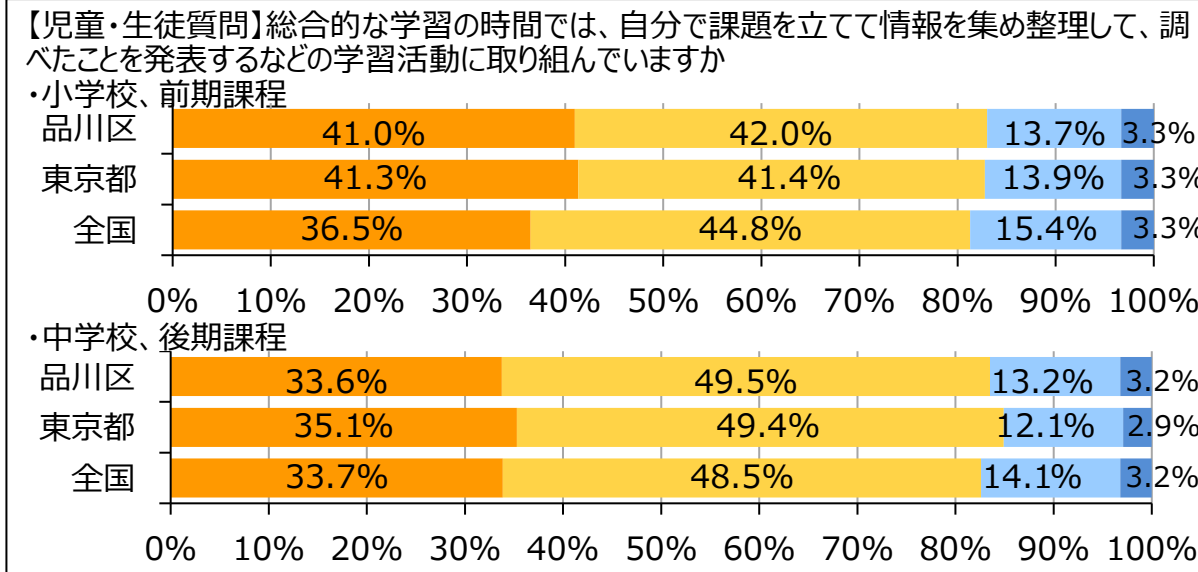
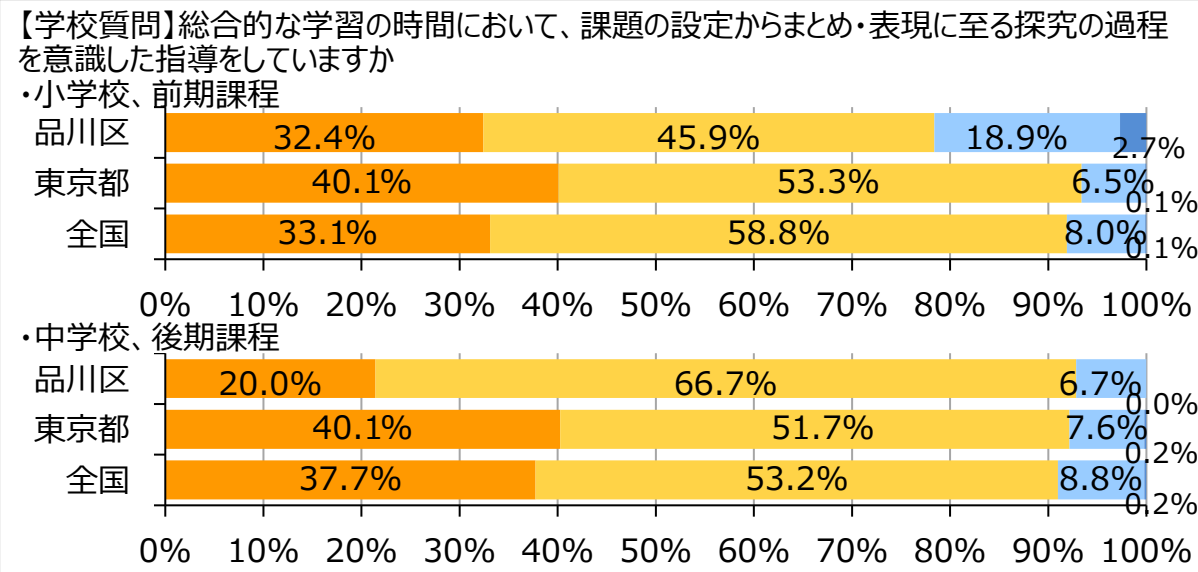
【状況】学校質問では、肯定的回答の割合は都や国より低い値(-9.6~-6.5)となっている。

児童・生徒質問では、肯定的回答の割合が都や国よりも低い値(-3.2~-0.2)となっている。

肯定的回答の割合は、小学校・前期課程では学校の方が、中学校・後期課程では児童・生徒の方が高い値となっている。

3 総合的な学習の実施状況 (R6 全国学力・学習状況調査結果から) ※区では市民科の授業で質問

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

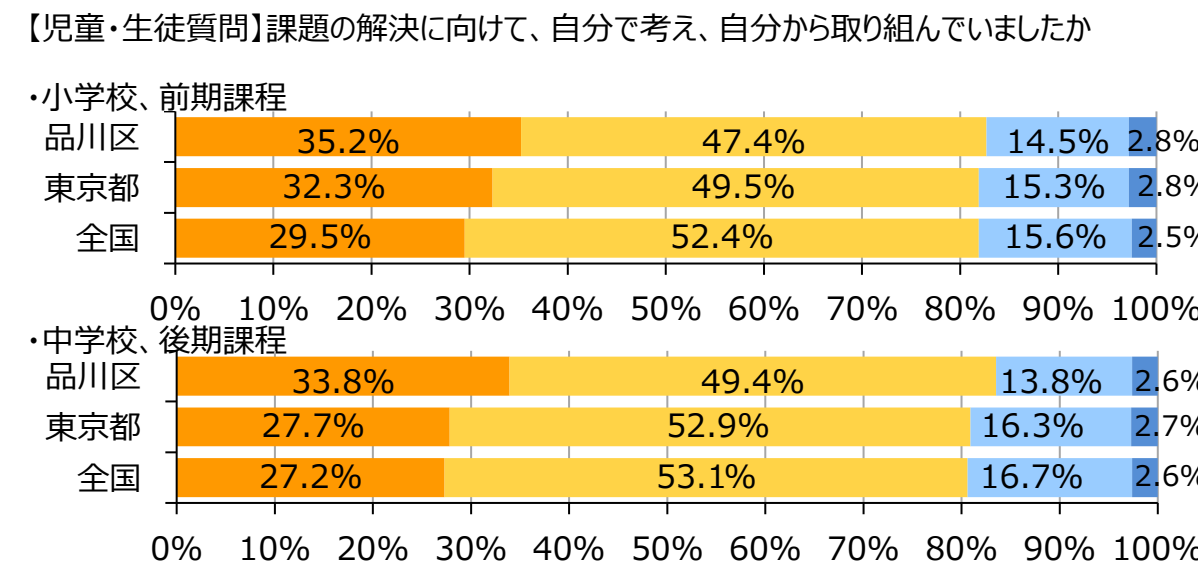
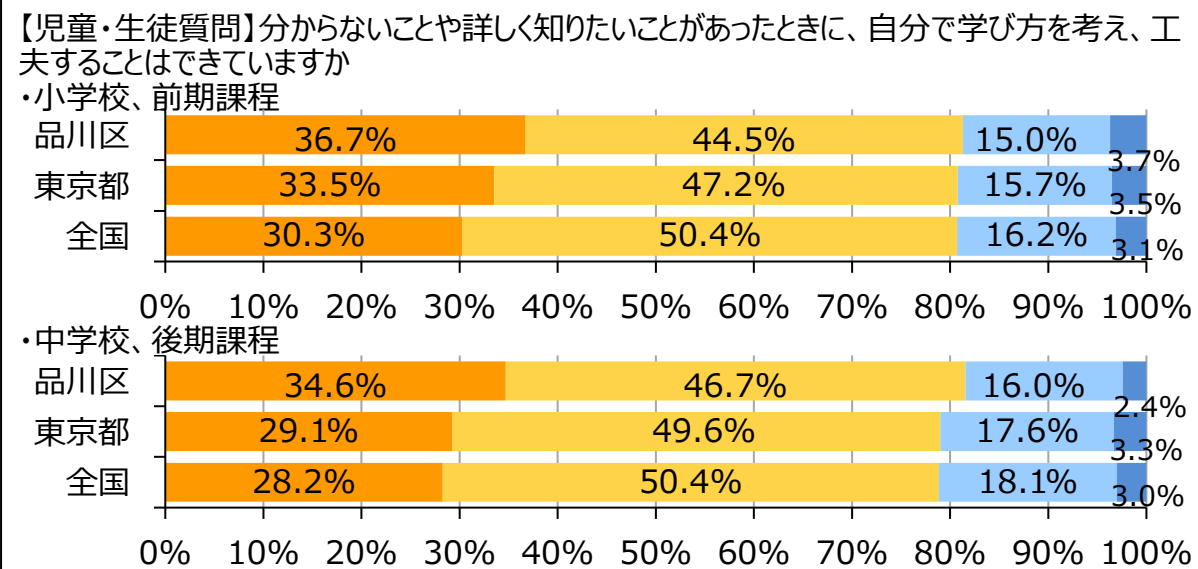


【状況】
学校質問では、肯定的回答の割合は都や国より低い値(-15.1~-4.2)、となっている。
児童・生徒質問では、肯定的回答の割合が都や国と同等の値(-1.4~+1.7)となっている。
肯定的回答の割合は、小学校・前期課程では児童・生徒の方が、中学校・後期課程では学校の方が高い値となっている。

4 市民科の資質・能力についての関連項目 (R6 全国学力・学習状況調査結果から)

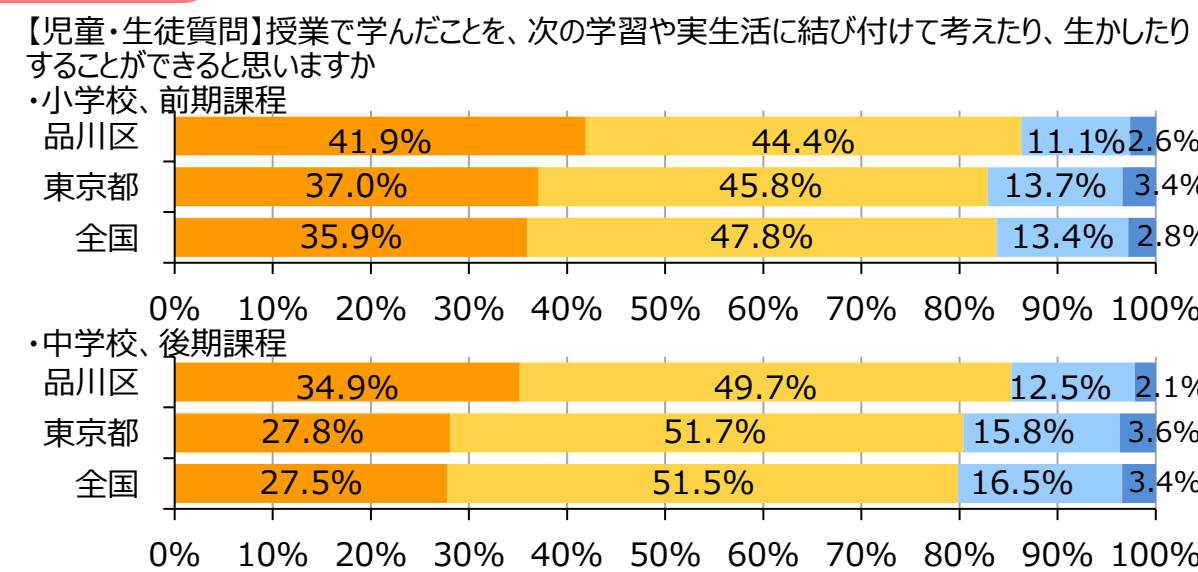
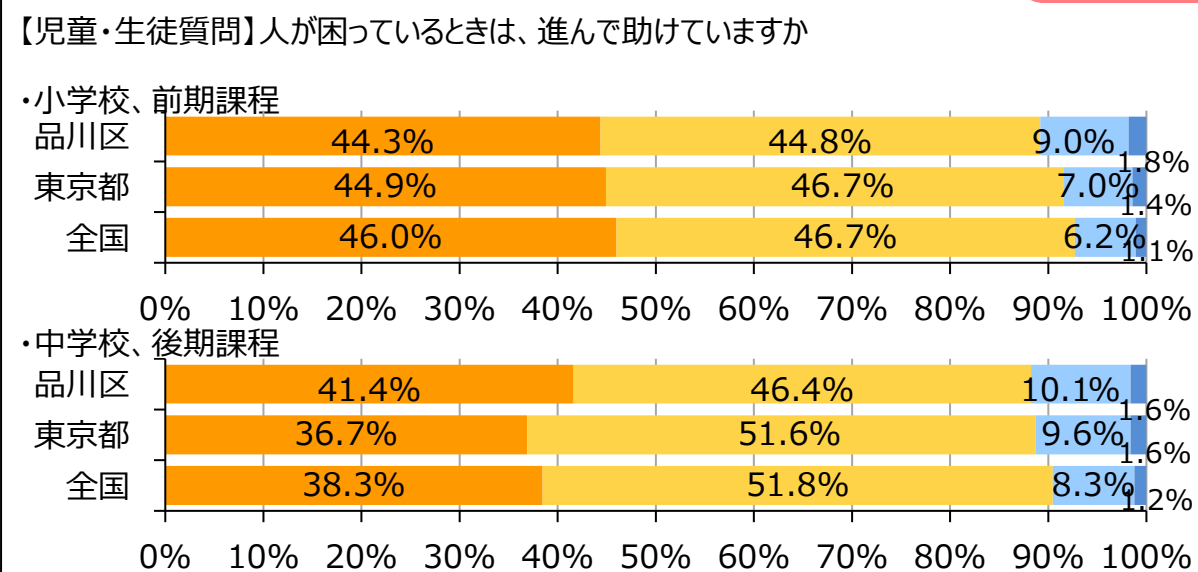
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

【自己管理領域】



【状況】
自分で学び方を考え、工夫することの肯定的回答の割合は、都や国より値が高く、中学校・後期課程では差が大きくなっている。
自分で考え、自分から取り組むことへの肯定的回答の割合は、都や国より値が高く、中学校・後期課程では差が大きくなっている。
肯定的回答の割合は、国や都と比較して、中学校・後期課程になっても割合は低下していない。

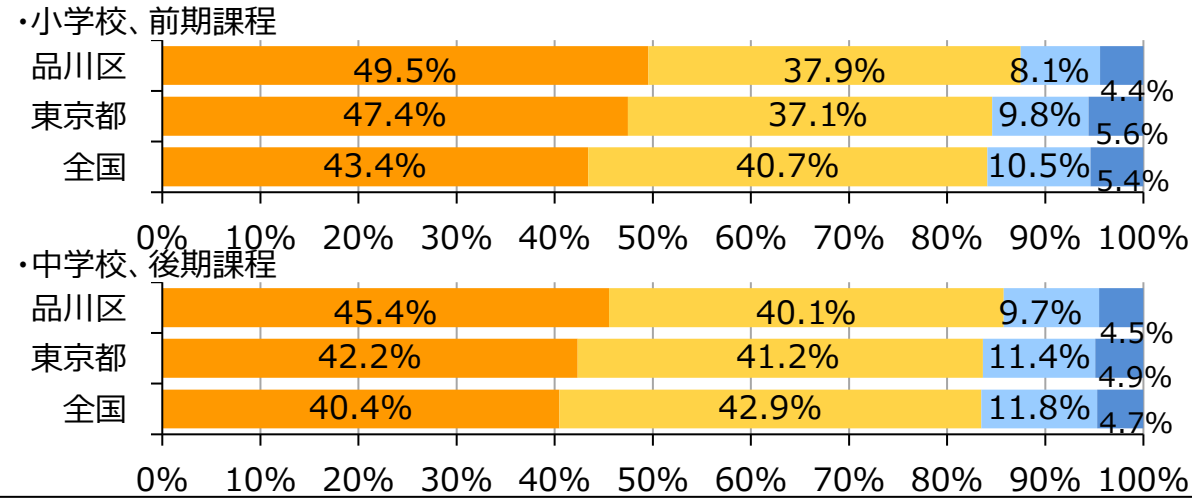
【自治的活動領域】



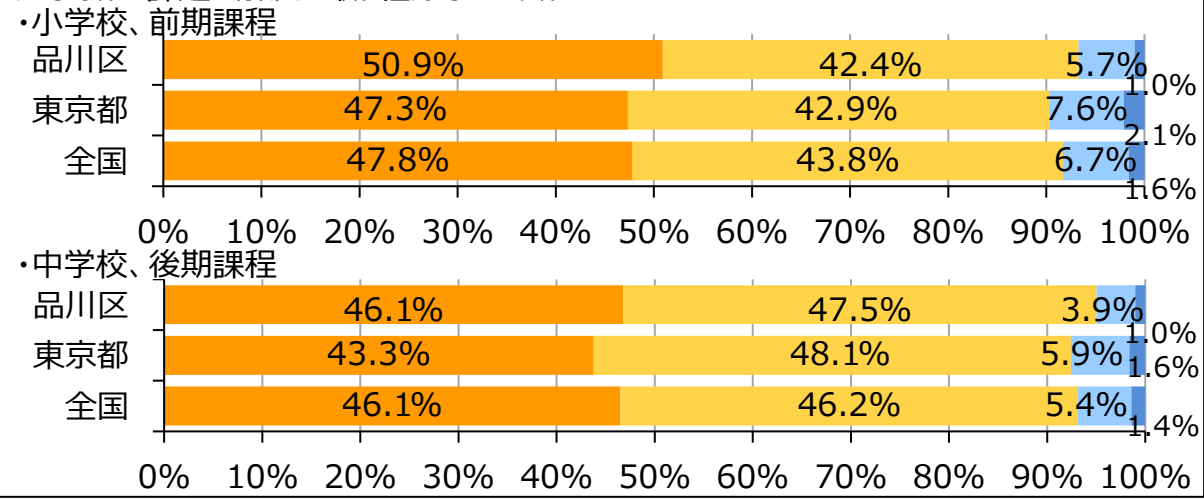
【状況】
人が困っているとき、進んで助けることへの肯定的回答の割合は、都や国より低い値だが、中学校・後期課程では差が縮まっている。
次の学習や実生活に生かすことへの肯定的回答の割合は、都や国より値が高く、中学校・後期課程では差が大きくなっている。
肯定的回答の割合は、小学校・前期課程の方が高い値となっているが都や国よりも差は小さい。

【人間関係形成領域】

【児童・生徒質問】自分には、よいところがあると思いますか



【児童・生徒質問】授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



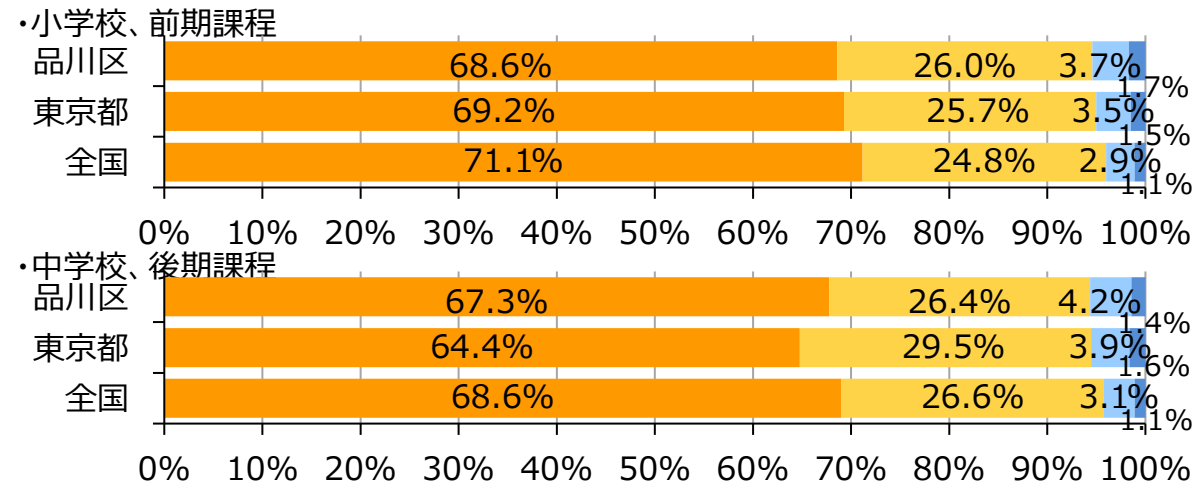
【状況】自分にはよいところがあることの肯定的回答の割合は、都や国より高い値となっている。

お互いに協力することの肯定的回答の割合は、都や国より高い値となっている。

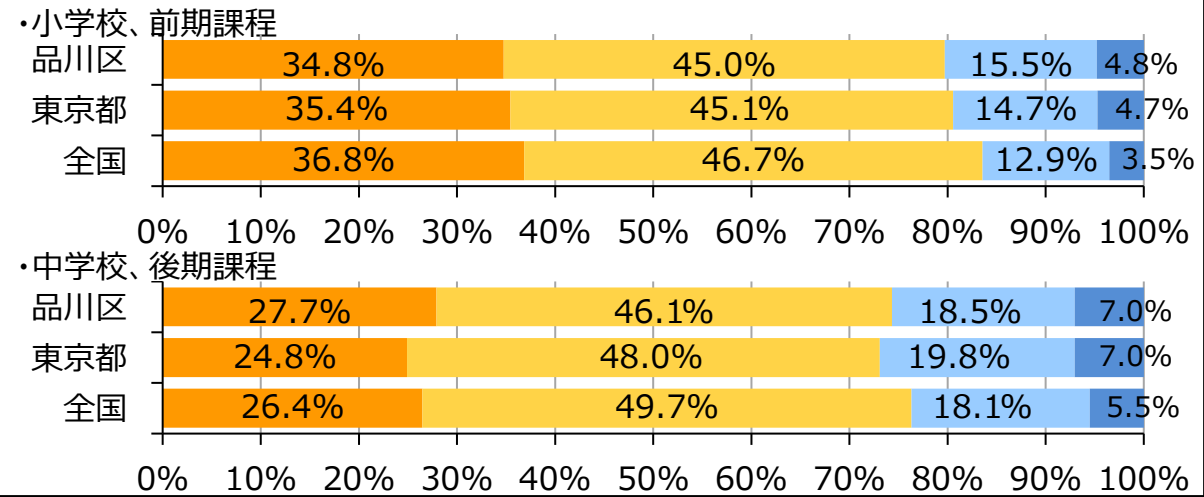
肯定的回答の割合は、中学校・後期課程の方が高い値となっており、都や国と同様の傾向が見られる。

【文化創造領域】

【児童・生徒質問】人の役に立つ人間になりたいと思いますか



【児童・生徒質問】地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか



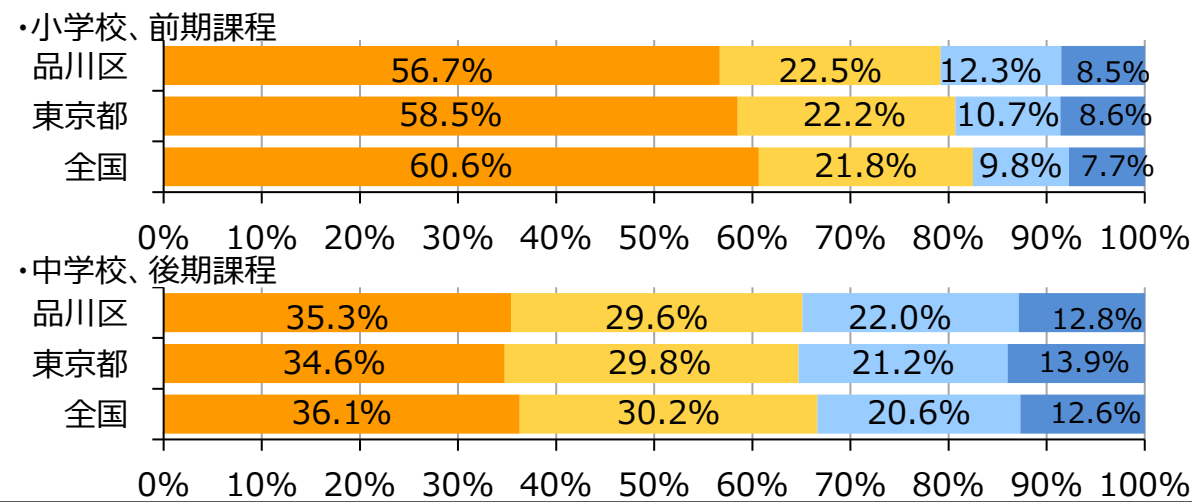
【状況】人の役に立つ人間になりたいことの肯定的回答の割合は、都や国より低い値となっている。

地域や社会をよくするために何かをしてみたいことへの肯定的回答の割合は、都と同等、国より低い値となっている。

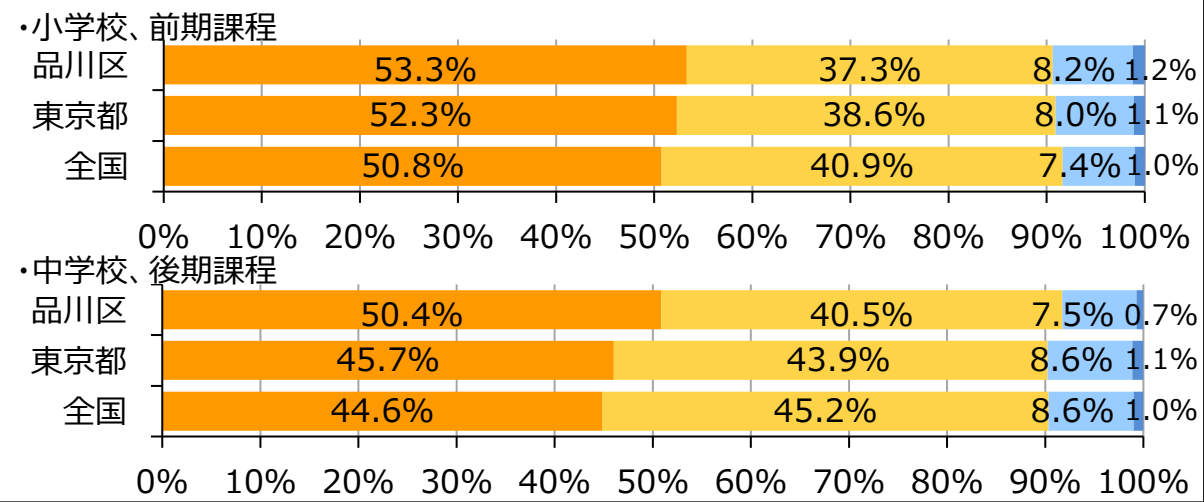
肯定的回答の割合は、小学校・前期課程の方が高い値となっている。

【将来設計領域】

【児童・生徒質問】将来の夢や目標を持っていますか



【児童・生徒質問】普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



【状況】将来の夢や目標を持つことの肯定的回答の割合は、都や国より低い値だが、中学校・後期過程では差が縮まり、都より高い。

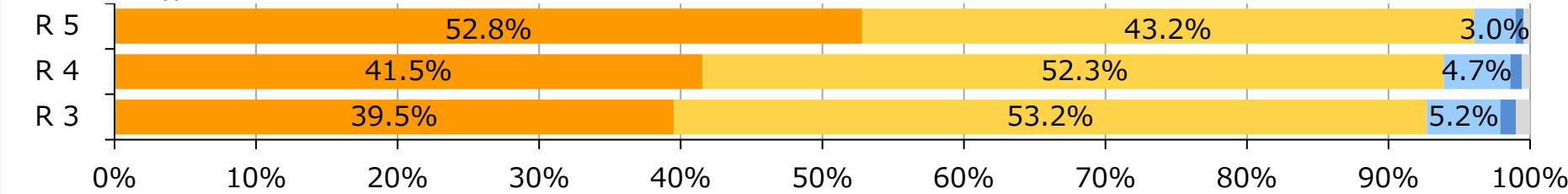
幸せな気持ちになることの肯定的回答の割合は、都や国と比較して、小学校・前期課程では低い値、中学校・後期課程では高い値となっており、小学校・前期課程よりも割合が高い。

5 市民科の保護者の捉え（保護者アンケート結果から）

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

【質問】市民科は、よい学習だと思う。

・2～9年生保護者



【状況】

・市民科の学習についての満足度は全体では9割以上が『肯定的な回答』をしており、令和3年度以降3年間、いずれも高い水準を維持している。

6 調査研究会（第1回から第3回の協議内容）

（1）区の独自教科としての成果と課題

- 実践から行動変容に結び付けていく市民科の理念は理にかなっており、子供たちは市民として社会を形成する力を身に付けることができる。
- 9年間の一貫した指導により、特に9年生では主体性が発揮されている。各行事など様々な場面でリーダーシップをとり、協力し合いながら積極的に活動している。1年生で学んだことが9年生で生かされており、系統的・スパイラルな指導がいかされている

- ▲ 他市区から異動してくる教員は、品川区で新たに市民科を指導する。また、他市区へ異動した教員は、「特別の教科道徳」「特別活動」「総合的な学習」の指導を行う。教員育成の課題がある。
- ▲ 市民科について、研究を深める場所が校内や区の教育会など場が限られている。各教員の実践を見る機会を確保したり、指導案など共有したりできる体制づくりをさらに進める必要がある。

（2）各内容についての成果と課題

- 各体験学習（スチューデント・シティ、CAPS、ファイナンス・パークなど）が、区の特色ある教育活動を支えている。
- 公開授業や意見交換の機会、外部講師の活用などにより、家庭や地域との教育的連携が図られている。

- ▲ 体験活動、外部講師による学習が多く、最近では新たな内容も市民科の中で取り扱うことになり、カリキュラムオーバーになっていないか。
- ▲ 市民科学習（教科書）で学ぶことと、一貫プランで学ぶことを整理していく必要がある。特に、一貫プランはスタート時にコロナ禍と重なり、周知や実践の共有など十分ではない。

（3）授業（指導・学習）についての成果と課題

- 教科書（単元）や指導の手引きがあることで、教員は経験年数等に関わらず指導計画等に基づき授業を行うことができる。また、単元のねらいが明確であるため、教員の工夫を反映しやすい。
- 5つのステップが示されていることにより、領域ごとに習得、実践が明確になっており、実生活や実社会を見据えることができる。また、例示が具体的であることで、特に低学年では指導がしやすい。

- ▲ 教科書やステップがあることで、そこに捉われすぎた授業（指導書通り）が見受けられる（授業改善の必要性）。また、5つのステップとAARサイクルの関連が示されたが、統一するなどよりわかりやすく示していく必要がある。
- ▲ 毎学年、毎学期ごとに所見での記載をしているものの、児童・生徒の学習成果がどのように積みあがっているのか可視化できていない。

区の独自教科として、より発展的に推進していくために、持続可能な内容、体制づくりを検討

【市民科再構築にむけての取り組み（案）】

（1）理念（市民科の役割・意義）

- ・ 持続可能な内容、体制づくりへ向け、20年間の市民科の振り返りとして、児童・生徒、教員への調査を行う。
- ・ 市民科の資質・能力である「市民として社会を形成する力」について、改めて検討する。（特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習との関連など）。

（2）市民科の充実

- ・ 学習プロセス（5つのステップ）を再構築する。
- ・ 現在、一貫プラン内で進めている探究的な学習の在り方について検討し、その在り方を示す。
- ・ 授業改善の推進（価値の教え込み、画一的なトレーニングからの脱却など）。

（3）学習内容について

- ・ カリキュラムオーバーロードの改善（体験学習の整理、市民科学習や一貫プランなどの指導時数の整理など）
- ・ 道徳、特別活動、総合的な学習の教材研究を生かせる授業。
- ・ 独自教材（教科書、指導書など）の扱いの検討。

（4）推進体制について

- ・ 教委内の推進体制の充実（専門部署、研究学校の指定）。
- ・ 人材育成に向けた体制づくりの充実（研修機会、研修内容の充実）。
- ・ 家庭・地域との一層の連携強化（家庭や地域からの声の反映）。
- ・ 固有教員の充実と活用。